



転校、内気な娘が心配

小学4年の娘がいます。家庭の事情で転校することになりました。長女は幼い頃から内気で、自分から話しかけることが大の苦手。今の学校では、休み時間は1人で校庭の散歩や読書をしているようです。

自分に自信を持つきっかけになればと運動や楽器を習わせていますが、そこでも自分からは緊張して話せず、周囲との会話も続きません。転校先でうまくやっけていけるか心配です。

家では小学2年の妹と仲良く遊び、自己主張もします。外でものびのびと過ごしてもらいたいです。親としてどう関わればよいでしょうか。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



仙台市若林区
40代・会社員

からの質問

●回答してくれた人

畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ 仙台市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小校長を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員。会コーディネーターを務める。



学校では一人で読書することを好むお子さんもいれば、仲間に入りたくて悩む子もいます。学校ではその子に応じて適切な声かけをしていると思います。

転校という環境が変わることで保護者もお子さんもしばらく緊張した生活が続くはず。地域性や学校・クラスの雰囲気、学習の進捗など戸惑うことがたくさんあるでしょう。

転入生が来るとクラスの子どもたちは大喜びで迎え、休み時間には集まって質問攻めにすると思います。チャンスと捉えて質問に答え、分からないことは質問するなど、やりとりできるように励ましてください。数日は疲れた様子で帰宅します。ゆっくり話を聞き、のびのび過ごせるようにしましょう。

「褒めて励ます」が大切

運動や楽器を習っていることで、体育や音楽の授業では自信を持って取り組めると思います。子どもたちに認められることは安心と自信につながります。転校後の生活で心配があれば担任に相談してください。

4年生の女子はそろそろ思春期に入るところ。どう行動しようか緊張し、悩む時でもあると思います。お子さんが悩みを相談しやすいよう親子関係を築き、妹との会話で上手な受け答えができれば褒め、話す楽しさを気付かせましょう。

子どもは親の心配を敏感に察知します。否定や干渉は慎むようにし、自信を持つよう褒めて励ますことが大切です。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社 子ども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



子どもたちの学力向上に！

河北新報の 出前授業

活用しませんか

教育に新聞を活用するNIE活動に取り組む学校が、年々増えています。新聞は子どもたちの学力向上、読解力アップにつながります。河北新報社は、新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。



出前授業 主なメニュー

新聞の読み方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
新聞を5分で読む方法、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学べます。

文章の書き方 (中学生以上) **楽しく実践**
新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス文書作成に役立ちます。

まわしよみ新聞 (全世代向け) **楽しく実践**
気に入った記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を発表します。多様な視点や考えがあることを学べます。

報道写真の役割 (全世代向け) **震災学ぼう**
写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学べます。

新聞の作り方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介しします。

防災ノウハウ (全世代向け) **震災学ぼう**
地域巡回防災ワークショップ「むすび塾」担当記者が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介しします。

※上記は出前授業の一例です。内容はご相談ください。

河北新報 出前授業



お問い合わせ先: 河北新報社 防災・教育室 | TEL:022-211-1309 FAX:022-211-1339
E-mail:kyopro@po.kahoku.co.jp

出前授業メニュー一覧はwebでご覧いただけます

